

第14回 いわて希望ファンド

第11回 いわて農商工連携ファンド

公募予定 (公募期間についてはお問い合わせください)

いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取組などについて、助成金交付による総合的な支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

創業・企業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ●創業する者 ●中小企業者(法人または個人事業者) ●特定非営利活動法人、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ) 		
(1)地域資源活用枠	(2)起業・経営革新枠		
「地域資源」(農林水産物、鉱工業品またはその生産技術、文化財等の観光資源など)を活用する事業	創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業または経営革新計画の承認を受けた事業		
助成率 助成限度額	お問い合わせ ください	助成率 助成限度額	お問い合わせ ください
助成期間	1年間 (※継続3年以内 (毎年審査))	助成期間	1年間 (※継続3年以内 (毎年審査))

中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者 ●小売・サービス業を営む、県内に住所のある中小企業者(法人または個人事業者) ●商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合 ●知事が適当と認める特定非営利活動法人
助成率 助成限度額	お問い合わせ ください
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

支援機関による支援事業

中小企業者が実施する起業・経営革新等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

第13回いわて希望ファンド地域活性化支援事業について、5月23日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

第13回いわて希望ファンド 地域活性化支援事業 採択事業決定

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
地域資源	漆掻き いがり	二戸市	漆掻きとそれにより採取された漆の活用を通して成り立つ事業の確立(継続事業2年目)
	(株)肉の横沢	八幡平市	八幡平牛の新商品開発及び拡販
	(有)アリラン商事	紫波町	埋もれた食用資源(ツルニンジン)を活かした新商品開発と販路開拓
中心市街地	花巻商工会議所	花巻市	花巻中心市街地の賢治・星めぐりの街活性化事業(継続事業3年目)
	岩手県商工会連合会	盛岡市	創業を促進するための「創業塾」と、経営改善への取組みによる経営基盤の強化のための「経営革新塾」を開催し、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。
支援機関	盛岡商工会議所	盛岡市	創業を促進するための「創業塾」と、経営改善への取組みによる経営基盤の強化のための「経営革新塾」を開催し、地域経済の活性化と雇用の創出を図る。
	(財)いわて産業振興センター	盛岡市	スーパーマーケットトレードショーへの県統一出展とそのためのセミナー事業及び試験販売支援事業を実施

いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

創業者または経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体による、以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 →農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行う者及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁業、連合会も可) ●中小企業者以外で、県内の特定非営利活動法人等と農林漁業者の連携体(注)申請は、中小企業者と農林漁業者の連名で行い、どちらか一方を代表者と定め、センターとの連絡・助成金の受領等を行う
助成率 助成限度額	お問い合わせ ください
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

●農商工連携の基本的要件

- 1 有機的連携**
中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること
◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。
◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。
- 2 新商品の開発等**
事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること
◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品または役務であることが必要です。


●農商工連携の事例～エゴマ調味料の事例～

中小企業者(調味料メーカー)
大豆・小麦アレルギーが発生しない新たなエゴマ利用調味料の施策や岩手県産の食材と組み合わせたレシピ開発等を進め、販路開拓を図る。

農林漁業者(農業者)
エゴマは、健康食品として注目を集めている。農業や化学肥料を使わない生産を進め、研修会や産地の情報発信を行う。

連携
それぞれが工夫を凝らした取り組み!

新商品開発!



第10回いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業 採択事業決定

第10回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、5月23日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
起業・新事業	(株)紫波フルーツパーク (連携者:作山ファーム)	紫波町	加工に適した最適米の栽培から製粉、米粉商品開発、販売までの一貫した製品作り(継続事業2年目)
	久慈琥珀(株) (連携者:岩手県浄法寺漆生産組合)	久慈市(二戸市)	国内最大生産地 琥珀と漆の融合(継続事業2年目)
支援機関	(財)いわて産業振興センター	盛岡市	岩手県内における中小企業者及び農林漁業者向けに実践的・実務的事業化支援セミナーを開催

●手続きの流れ



お問い合わせ お申し込み先 **産業支援グループ** (いわて希望ファンド担当/岸 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤)
TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール johoh@johoh-iwate.or.jp